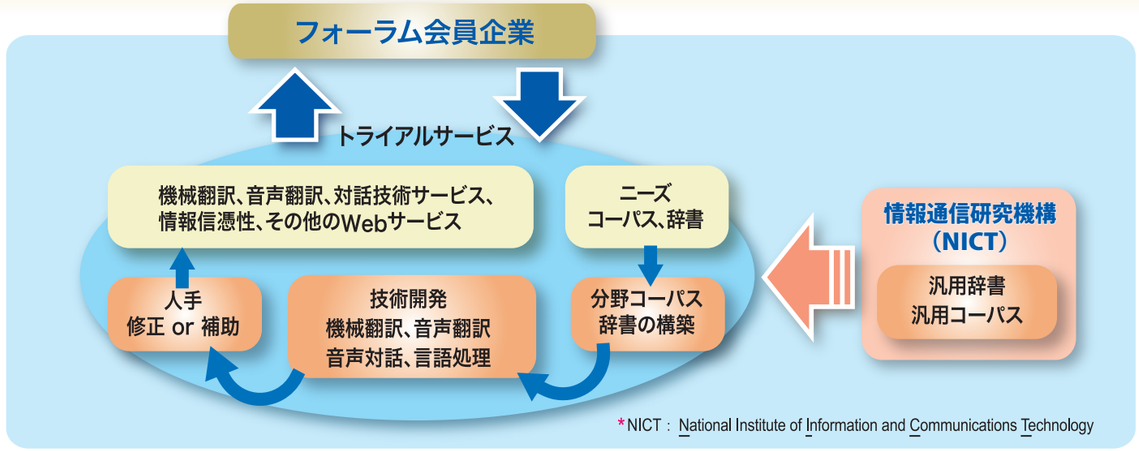
情報通信研究機構（NICT*）による
研究開発トライアルサービスイメージ

～ 実証実験を希望するフォーラム会員企業に対して、NICTがトライアルサービスを提供 ～



*NICT： National Institute of Information and Communications Technology

https://www.alagin.jp/

高度言語情報融合フォーラム（ALAGIN）事務局

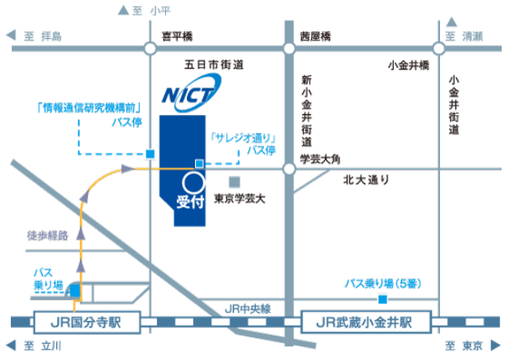
お問い合わせ先（共通）E-Mail：**info@alagin.jp**

【フォーラムの詳細説明など全般的なお問い合わせ】

国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）
ユニバーサルコミュニケーション研究所 内
〒184-8795　東京都小金井市貫井北町4-2-1
TEL：042-327-5932　FAX：042-327-5837

【入会など事務手続きに関するお問い合わせ】

一般財団法人 テレコム先端技術研究支援センター
（SCAT）内
〒162-0067　東京都新宿区富久町16-5 新宿高砂ビル
TEL:03-3351-8151　FAX:03-3351-1624





NICT 交通のご案内

【電車・バスをご利用の場合】

●JR国分寺駅

立川バス（約5分） 3番バス乗り場「国分寺駅北口」より、どの系統でも可。情報通信研究機構前下車

京王バス（約5分） 1番バス乗り場「国分寺駅北口」より京王バス「小平団地」行きバスに乗車し、情報通信研究機構前下車

【タクシーをご利用の場合】

JR国分寺駅北口にタクシー乗り場あり（所要時間約5分）

SCAT 交通のご案内

【地下鉄をご利用の場合】

●東京メトロ 丸ノ内線 新宿御苑前駅
出口２より徒歩約８分、出口１より徒歩約10分

●都営地下鉄 新宿線 新宿三丁目駅
出口Ｃ７より徒歩約10分

【バスをご利用の場合】

都営バス 花園町停留所 下車徒歩約１分
（新宿駅西口バスのりば③
系統番号：白61　練馬車庫前・練馬駅前行　乗車約９分）

2026.10

高度言語情報融合フォーラム

ALAGIN
Advanced LAnGuage INformation Forum

高度言語情報融合フォーラム からのメッセージ

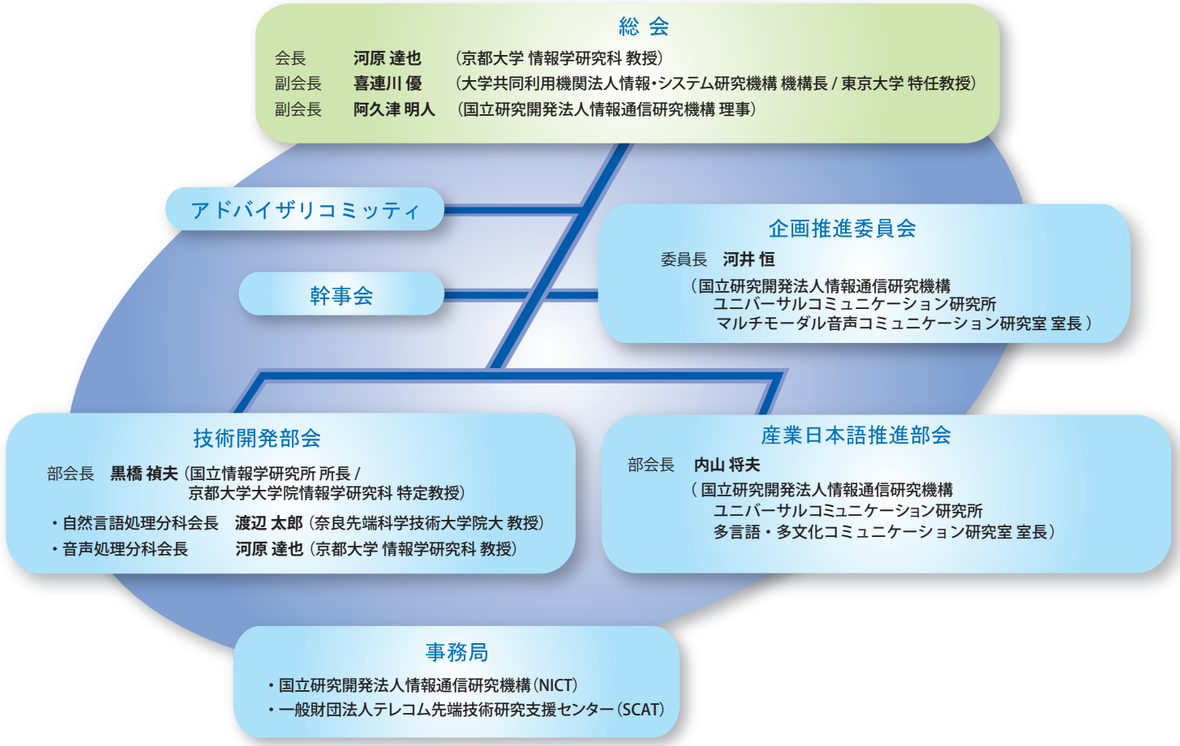
コミュニケーションにおける種々の壁を越える技術であるユニバーサルコミュニケーションの重要性がますます高まっています。その中で、言語の壁を越える技術は、人間のコミュニケーション能力を飛躍的に向上させ、さらに、言語、知識、文化、コミュニティの壁をも越えた相互理解を促進するものであり、誰もが心豊かで便利に生活できる情報化社会の創成に不可欠なものです。

平成23年3月、我が国は1000年に一度と言われる未曾有の大震災に見舞われ、東北地方は壊滅的な被害を受けました。しかし、その中で、インターネットを介して、安否情報や被災状況等の情報を検索、共有する試みや、家族との再会や被災地への物資の供給等に対する支援の試みが、大きな貢献を果たしました。また、これらの情報共有は、救援物資の配給、備蓄のための流通協力、自動車部品を始めとする工場設備の融通など、組織の境界を越えた協力を促進し、震災からの復旧・復興に不可欠なものとなっています。

一方、社会は一層ボーダレス化し、インターネットの普及とともに実世界の情報がインターネットに投影されるようになってきました。あらゆる言語の情報、知識がインターネット上に存在し始めています。これらの種々多様な情報を結びつけ、構造化、共有化するための中心的なツールとして「言語」がますます重要な役割を持ち始めています。

当フォーラムは、平成21年の設立以降、組織を越えて音声・言語の資源やツールを共有しつつ、言語の壁を感じさせない情報処理、コミュニケーションを実現するための技術の進歩発展・促進を図ってまいりました。より具体的には民間企業、大学・研究機関及び国の関係者を集結して、テキスト/音声の翻訳、音声対話システム、適切に情報を検索する技術や信憑性判定を含めた情報分析技術、高度情報検索技術、ならびにこれらの技術の前提となる今までにない規模の言語資源(辞書、コーパスなど)を研究開発、実証実験・標準化等を行い、その成果たるツールや言語資源を広く会員に提供すべく活動してまいりました。また、各種の技術講習会や、産学官のマッチングの場の提供を行ってまいりました。これらの活動を益々充実させ、さらに国内のみならず国外にも視野を広げていくことが、言語の壁の克服に繋がり、さらには我々の意思決定・意思疎通を円滑にし、震災からの復興に弾みをつける起爆剤になるのではないかと考えております。引き続き、ALAGINの活動にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

組織図



フォーラムの狙い



活動内容

企画推進委員会

フォーラム活動の企画案の策定等

- 部会横断的な活動の推進
- 音声言語資源、ツールの配信
- 広報活動の促進

技術開発部会

関連分野の研究者・技術者に指針を与え、関連技術の研究開発を支援する

- 言語基盤、言語翻訳の研究開発を促進
- 音声対話システム、音声認識・合成の研究開発を促進
- WEB情報の知識処理の研究開発を促進

産業日本語推進部会

産業活動における情報を客観的かつ正確に表現し伝えるための日本語の研究・普及活動を行う

- 産業日本語推進に必要な言語資源等の開発、成果物の公開・共有
- さらに、言語学・言語処理にとどまらず、産業日本語研究を広く推進
- 一般公開シンポジウム等の開催、活動内容のWEB発信